

問1 アメリカ合衆国が世界恐慌後に採用した経済政策の「考え方」について、それ以前の方針と比較した説明として最も適切なものはどれですか。

（2025年 山口県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 軍備を急速に拡大して近隣諸国へ侵攻し、獲得した領土から資源や労働力を確保することで経済を立て直そうとした。 | 2. 政府が積極的に経済活動に介入し、公共事業などを通じて国民の購買力を高め、有効需要を作り出す方針に転換した。 | 3. 市場の動きにすべてを任せる自由放任主義を徹底し、政府の役割を最小限に抑える方針をとった。 | 4. 金本位制を維持し、通貨の発行量を厳しく制限することで、急激なインフレーションを抑えることを最優先した。 |
|--|--|---|--|

問2 昭和金融恐慌の際、銀行に押し寄せる人々への支払いに充てる現金を至急確保するため、日本銀行がとった異例の対応として正しいものはどれですか。

（2023年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|---|-----------------------------------|
| 1. 印刷の時間を短縮するため、裏面が白紙のままの二百円札を発行した | 2. 硬貨の原料となる銅を節約するため、陶器製の貨幣を大量に流通させた | 3. 偽造防止を優先し、透かしの技術を極限まで高めた新紙幣を数年かけて開発した | 4. 紙幣の代わりに、政府が発行する「米切手」を強制的に使用させた |
|------------------------------------|-------------------------------------|---|-----------------------------------|

問3 1929年から始まった世界恐慌に対して、当時の主要国がとった対策やその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。

（2020年 佐賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. アメリカはローズベルト大統領のもと、政府が経済に介入して失業者を救済するニューディール政策を実施した。 | 2. ドイツやイタリアなどの植民地が少ない国々は、自国内の市場だけで経済を立て直すブロック経済を確立した。 | 3. イギリスやフランスは、自国の通貨安を誘導して世界中の国々と自由貿易を促進する政策を採用した。 | 4. 日本は世界恐慌の影響を全く受けず、満州事変をきっかけに軍需景気が沸き起こり、いち早く経済成長を遂げた。 |
|--|---|---|--|

問4 1929年に発生した世界恐慌により深刻な不況に陥ったアメリカにおいて、それまでの自由放任主義を改めて、政府が積極的に経済へ介入することで景気の回復を図った一連の政策を何といいますか。

（2023年 徳島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------|----------|-------------|-----------|
| 1. ニューディール政策 | 2. 五か年計画 | 3. ブロック経済政策 | 4. 資源配分政策 |
|--------------|----------|-------------|-----------|

問5 国際連盟の設立を提唱した国でありながら、自国の議会による反対を理由に最後まで加盟しなかった国を、次のうちから選びなさい。

（熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------|------------|--------|---------|
| 1. ソビエト社会主義共和国連邦 | 2. アメリカ合衆国 | 3. ドイツ | 4. イギリス |
|------------------|------------|--------|---------|

問6 1929年の株価大暴落に端を発した世界恐慌の影響で、アメリカでは1930年代前半に失業率が25%近くにまで達する深刻な事態となりました。この状況を解決するためにルーズベルト大統領が行った、政府が積極的に経済へ介入して景気回復を図る一連の政策を何といいますか。

（2020年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------|----------|-------------|--------------|
| 1. マーシャル・プラン | 2. 五か年計画 | 3. ブロック経済政策 | 4. ニューディール政策 |
|--------------|----------|-------------|--------------|

問7 第二次世界大戦中の日本では、戦地へ赴く男性兵士の数が1937年の100万人未満から1945年には約7倍の700万人近くにまで増加しました。この影響で実施された「学徒動員」に関する説明として、最も適切なものはどれですか。

（2019年 徳島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|-----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 戦時下の精神を鍛えるため、全国の学生が寺院や神社に住み込みで修行した。 | 2. 高度な技術を習得させるため、海外の同盟国へ留学が奨励された。 | 3. 若者の失業を防ぐため、公共事業への就職が優先的に割り当てられた。 | 4. 学生や生徒が授業を中断し、軍需工場などで労働に従事した。 |
|--|-----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|

問8 1929年を100とした主要国の工業生産指数の推移を比較すると、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本などの諸国が1930年代前半にかけて数値を大きく低下させる一方で、ソ連だけは指数を急激に上昇させています。この時期のソ連の状況を説明した文として正しいものはどれですか。

（2026年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|---|
| 1. レーニンが新経済政策（ネップ）を採用し、資本主義的な要素を取り入れて景気を回復させた。 | 2. スターリンの指導による五カ年計画により、重工業を中心に生産を拡大させた。 | 3. 世界恐慌に対抗するため、ヒトラーの指導のもとで軍需産業を拡大させた。 | 4. ムッソリーニがファシスト党による一党独裁を確立し、エチオピアへの侵攻を開始した。 |
|--|---|---------------------------------------|---|

問9 昭和初期における日本の経済状況から戦時体制への移行に関する説明として、出来事の因果関係が正しい記述を選びなさい。

（類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 大戦景気による経済の活況を背景に民主主義が成熟し、その流れの中で国家総動員法が制定された。 | 2. 金融恐慌による社会的不安を背景に軍部が台頭し、国際的な孤立を経て、国家総動員法による統制体制へと進んだ。 | 3. 日中戦争の終結によって経済が回復したため、国家総動員法を廃止して自由経済へと戻った。 | 4. 国際連盟脱退による経済制裁を回避するため、平和維持を目的とした大政翼賛会が組織された。 |
|--|---|---|--|

問10 一九二八年から一九三一年にかけての日本の生糸輸出額の推移において、アメリカ向け輸出額が一九二九年の約七億三千五百万から、翌一九三〇年には約三億九千九百万へと約半分に急落した背景として、最も関連の深い出来事はどれですか。

（2026年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 日露戦争 | 2. 第一次世界大戦 | 3. 世界恐慌 | 4. 産業革命 |
|---------|------------|---------|---------|

問11 第一次世界大戦後から第二次世界大戦終結までの日本の歩みをまとめた年表において、1936年の二・二六事件が発生した後の政治状況の変化についての説明として、最も適切なものを選んでください。

（2018年 香川県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 天皇中心の統治に反対する勢力が拡大し、社会主義的な改革が行われた | 2. 治安維持法が廃止されたことで自由な言論が認められ、民主主義が発展した | 3. 政党政治の信頼が回復し、衆議院を中心に国際協調外交が進められた | 4. 軍部の要求が通りやすくなり、政治に対する軍の影響力が急速に強まった |
|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|

問12 1920年代末から1930年代初頭にかけての日本において、世界恐慌の影響で発生した「昭和恐慌」により農村が窮乏した背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

（2016年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 政府が急激な円安誘導を行った結果、肥料や農機具などの輸入価格が高騰し、農家の経営を圧迫したため。 | 2. 安価な海外産の綿糸や綿織物が大量に輸入されるようになったことで、国内の伝統的な繊維産業が完全に衰退したため。 | 3. 主要な輸出先であったアメリカの購買力が低下し、農村の貴重な現金収入源であった生糸などの価格が暴落したため。 | 4. 第一次世界大戦による好景気への反動として、国内の米の価格が急激に上昇し、都市部での米騒動が農村に波及したため。 |
|---|---|--|--|